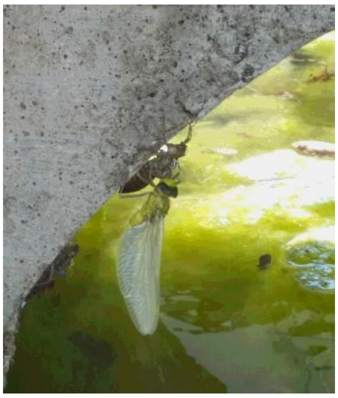
静間小だより

～気づき　考え　みんなで創り出す～　令和６年　６月号

「気づき　考え　みんなで創り出す」③
～「気づき」は学びを創る～



全校朝礼で**「気づきは学びを創る」**というテーマで話をしました。
私は，散歩を趣味の一つにしています。週末は必ず散歩をします。健康のためでもありますが，それだけではなく，歩くといろいろな「気づき」があります。**「何か新しいものを見つけよう。」**という思いをもって散歩をします。
しばらく前は，こんなものを見つけました。右の写真です。何か分かりますか？トンボがヤゴから羽化するところです。私ははじめて見ました。トンボが完全に羽化するまで，ずっと見ていました。また，周囲を見ますと，このトンボが群生しているのが分かりました。すべてのヤゴからトンボが羽化して飛び立とうとしていました。左の写真がその様子です（ちょっと分かりにくいですが）。

分からないのが，このトンボの名前です。**これは解決したい**と，家の昆虫図鑑とスマホで調べました。
何という名前のトンボだと思う？と子どもに問うと，「オニヤンマ」「糸とんぼ」と答えてくれた子どもがいました。
名前は，**「シオカラトンボ」**でした。
もっと大きく成長したシオカラトンボのことは知っています。雄の体の色は水色，雌の体の色は茶色で，町の中を結構飛んでいます。しかし，羽化する時は緑なんですね。だから，シオカラトンボとは分かりませんでした。湿ったところが好きで，川や沼，池にたまごを生み，そこからヤゴが上がってきて成虫になるトンボです。この程度のことは知っていましたが，羽化する時期のシオカラトンボのことははじめて知りました。

「何か新しいものを見つけよう」という思いが，**「気づき」**につながります。
この**「気づき」**が**「調べて考えるという学び」**につながります。
その学びが**「新たな発見」**につながります。

私自身，この気づきがなかったらこのような学び，発見はできなかったです。
「気づきは学びを創る」・・・たくさんの「気づき」をして，みんなでたくさんの「学び」をしてほしいという願いを子どもたちに話しました。

連合運動会終わる

５月２５日土曜日に，３年ぶりの連合運動会が行われました。子どもたちは自分の力を精一杯出し切りました。

子どもたちはみんな，「いい走りができました。」，「やりきりました。」と言っていました。うれしい気持ちになりました。子どもたちとグータッチをして，私のそのうれしさを伝えました。

このように，子どもたちが自分の取り組み方に満足できたのは，これまでの練習が有意義であったからだと思います。自分たちで声をかけ合い，みんなでよりよく練習を創っていました。まさに，「気づき，考え，みんなで創り出す姿」でした。５年リレー，６年リレーともに静間小学校が優勝しました。もともとの走力もありますが，連合運動会に向けた取組の過程で，体と心が磨かれ，個の力，集団の力を高められたことが，子どもたちの潜在的な力を引き出したのではないかと思います。

そして，***４年生ありがとう***

大会前には壮行式を４年生が中心となって行いました。５・６年生のがんばりへの「気づき」から，元気づけられる方法を「考え」，みんなで素敵な壮行式を「創り出す」ことができました。１～３年生の声もすばらしかったです。

修学旅行

６年生が修学旅行に行きました。広島方面を行き先として修学旅行を実施しました。

１日目は，広島平和公園と宮島へ行きました。平和の尊さや平和な社会を創るために一人一人が考え，取り組んでいかなければならないことを学びました。宮島では，世界遺産の壮大さにふれ，文化を守ることの意味を知りました。お土産もたくさん買いました。２日目は，広島空港とみろくの里に行きました。広島空港のしくみについて説明を聞いたり，デッキで見学をしたりしました。みろくの里ではとにかく遊んで，楽しい時間を過ごしました。

中国地方の他県にある伝統文化や技術，魅力をたくさん肌で感じて帰ってきました。いつまでも思い出に残ることでしょう。

ヒラメの放流体験

ヒラメの稚魚の放流体験をしました。

海からの恵みをたくさんもらいながら生活をしています。その海を守るのは人の役割です。

ヒラメの放流に限らず，自分の立場でできることを考えるきっかけにしてほしいと願います。

体験がくらしに活きていくとよいですね。